

# お元気ですか

# 南 恵子

# です

ニュースを読んで  
ご意見をお寄せ  
下さい。

南恵子事務所  
3790-1523



日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

区議団 e-mail info@jcp-shinagawa.com

## 区の住宅耐震化計画

## 共産党の条例提案が実る

# 安心・安全 我が家を地震から守る対策を

品川区は昨年9月に住宅の「耐震改修促進計画」をつくりました。日本共産党区議団が2006年12月議会で、耐震診断の助成対象地域を拡大せよと条例提案したことがきっかけでした。

### 全区域での支援

「耐震改修促進計画」と銘打ったように、この計画がつけられる前は耐震診断を受けられる地域は住宅密集地域などに限定されてきました。しかし、木造住宅(戸建て住宅・長屋・アパート)・非木造住宅・マンション(延べ床面積千平米以上で3階以上の建物)のどの形の住宅でも、すべての地域を対象にして診断にも改修にも助成をします。ただし、昭和56年6月以前に建てられた住宅です。

### 木造住宅密集地域での 建替え支援

旗の台、戸越、中延などは木造住宅密集地域といわれていますが、建物の倒壊だけでなく延焼火災による被害の拡大が心配される地域です。

そこで、耐震化とあわせて不燃化(燃えない住宅)住宅に建替えることを促進させる対策です。

### シエルトターの設置にも 補助が出ます

対象になるのは今までと同様、昭和56年6月以前に建てられた住宅です。また、専門家の派遣もします。

住宅の耐震化には経済的な負担を伴います。命を守るために、寝室だけ、あるいはベット周りだけを耐震化するためにシエルトターの設置が可能になりました。

対象は、昭和56年6月以前に建てられた2階以下の木造住宅で、高齢者のみの世帯、または身体障害者のいる世帯、低所得世帯です。借家やアパートに住んでいる方は建物所有者の承認を得ていることが条件です。これは、都が選定した耐震

シエルターなどの設置費用の助成です。

### 区内の住宅の現状と耐震目標値

品川区内はマンションがほとんど建設されていますが、まだ木造住宅はたくさんあります。

品川区は、住宅耐震をすすめるためによりやく目標値を設定しました。

現在の耐震化率は62・3%ですが、それを平成27年度に90%にすると決めました。

区は、下の表のように現在の住宅について現状を示し、各住宅の耐震化目標を90%に広げるよう計画を持つことを明らかにしました。

画期的です。

日本共産党は、2006

住宅	数	耐震化率	耐震性なし
木造住宅	39100棟	54.40%	45.60%
非木造住宅	8804棟	66.40%	33.60%
マンション	9128棟	92.10%	7.90%

**八潮 2月2日(土)午後6時半～**  
**南大井 2月3日(日)午後2時～**

ぜひ 予定してください。  
詳細は今後お知らせします。

掲載の要請がありました

## 新春のつどい

年の第4回定例区議会(12月議会)で、木造住宅だけでなく非木造とマンションも耐震診断・改修工事の対象にするよう拡大を求めて条例提案をしました。

区が明らかにした耐震改修促進計画は、条例提案を

# 阪神・淡路大震災から13年

## 生命と財産を守る対策を

ある放送局が神戸市長田区の復興・整備された町並みを映していました。しかし、一方で、長田区はかつてケミカルシューズの集積地で、業者が集まっていたからこそ仕事があった。業者が訪れて地域の商店街で食事をしたり買い物をした。いと関連して潤っていた。しかし、ケミカルシューズ関連の業者がいなくなってしまうため、商店街の通りが激減していること、

復興して街は整備されたものの、中身は活性化していないという話を関係者がしていました。災害と対策、街づくりと活性化、それぞれも問題が浮き彫りになり、考えさせられました。



受けてつくったものです。ご利用ください。

区民の命と財産を守る政策を一步前進させることができてうれしく思います。

9月17日、ある放送局で映していた神戸市長田区の街は、きれいに整備されていました。

みなさんのお住まいに必要であれば大いに検討して

このニュースをお読みになつて、ご意見やご要望などありましたら、お気軽にお寄せください。電話(3790)1523